

感染症発生動向調査情報(週報)

2013年42週(10月14日～10月20日)

○ 山梨県内流行情報

第42週の手足口病は、山梨県内の定点当りの報告数が0.58となり、中北保健所峡北支所管内における報告数も1.4となり、警報レベルは全て解除となりました。一方、RS ウイルス感染症については、今週も中北保健所管内で6件、中北保健所峡北支所管内で1件など、例年の同じ時期に比べ報告が多い状況が続いております。全国で発生が増加傾向にあるRS ウイルス感染症は、初めて感染発症した場合は重症化しやすいといわれており、特に乳児期早期(生後数週間～数カ月間)に初感染した場合は、細気管支炎、肺炎といった重篤な症状を引き起こすことがあるため、今後の発生動向に引き続き注意が必要です。今週は、このほかの感染症については大きな動向の変化はありませんが、朝晩だいぶ冷え込むようになりました。インフルエンザや胃腸炎などが本格的に流行する前に、改めて家族全員で手洗い・うがいを励行するとともに、バランスのとれた食事や十分な休養を心がけるなど、体調の管理に留意しましょう。【今週の警報】:なし / 【今週の注意報】:なし

○ 富士・東部管内流行情報

引き続き、手洗い、うがいを励行し、感染予防に努めましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	122	0.03	3195	1.03	788	0.25	2353	0.76	9125	2.94	1685	0.54
山梨県	-	-	7	0.29	2	0.08	12	0.5	53	2.21	9	0.38
中北	-	-	6	0.75	1	0.13	2	0.25	35	4.38	5	0.63
中北峡北	-	-	1	0.2	1	0.2	9	1.8	5	1	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	1	0.25	5	1.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	2	1
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.4	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	3991	1.28	109	0.04	1534	0.49	33	0.01	599	0.19	682	0.22
山梨県	14	0.58	1	0.04	2	0.08	-	-	1	0.04	9	0.38
中北	2	0.25	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	5	0.63
中北峡北	7	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.6
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	5	1	-	-	1	0.2	-	-	-	-	1	0.2
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	6	0.01	322	0.48	11	0.02	25	0.05	160	0.35	5	0.01
山梨県	-	-	1	0.11	-	-	-	-	1	0.1	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	42週		41週		40週		39週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	減少しています	たいへん流行しています	0.29	7	0.46	11	0.21	5	0.33	8
咽頭結膜熱	横ばいです	平年並みです	0.08	2	0.04	1	0.04	1	0.04	1
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	減少しています	平年並みです	0.5	12	1.08	26	1.04	25	0.67	16
感染性胃腸炎	横ばいです	平年並みです	2.21	53	2.04	49	1.71	41	1.79	43
水痘	横ばいです	平年並みです	0.38	9	0.25	6	0.17	4	0.08	2
手足口病	減少しています	平年並みです	0.58	14	1.46	35	1.75	42	2.04	49
伝染性紅斑	—	—	0.04	1	—	—	0.04	1	0.04	1
突発性発疹	減少しています	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.42	10	0.38	9	0.38	9
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	減少しています	平年並みです	0.04	1	0.29	7	0.25	6	0.21	5
流行性耳下腺炎	やや増加しています	平年並みです	0.38	9	0.21	5	0.21	5	0.17	4
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	—	—	0.11	1	—	—	0.11	1	0.22	2
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	横ばいです	平年並みです	0.1	1	0.1	1	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	0.1	1	—	—

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
五類感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	中北	女	66
二類感染症	結核	中北	男	95